

金 剛 石

八代市立第六中学校

学校だより

令和8年9月8日

文責：校長



校訓：「金剛石の光を発揮し、まわりを照らせ」

学校教育目標：「自分を磨き、仲間と繋がり、未来を考える生徒の育成 ～共に成長していく学校～」

近づく日常 ～多くの方々の支援に感謝～

2学期が始まり、10日が過ぎました。地震の影響で生活に支障が続いているご家庭もあるかと思いますが、生徒たちは日々の学校生活を頑張っています。2学期が始まるまでに、校舎内外や通学路等で損壊した場所は教育施設課の方をはじめ、工事関係の方々が早急に修繕・補修を行っていただきました。加えて、多くの自治体や様々な団体の方々から支援やサポートもいただきました。六中は依然として給水が不安定な状態で、井戸水や揚水ポンプの点検、漏水箇所の確認が行われています。現在は頻りに給水車に来ていただき、受水槽に水を入れてもらうことで手洗いやトイレ等は通常通り使うことができます。水筒を持ってくるのが難しい生徒のために教育政策課からはペットボトルの水もいただいております。とても助かっています。また、先週はライオンズクラブの方からも水の支援がありました。本当に有り難いことです。多少の不自由や不安もありますが、確実に日常に近づいていると実感しています。多くの方々が学校全体、子供たち、教育活動を支援していただいていることに心から感謝です。

激励とお礼 ～六中生の心意気にプレゼント～

約1ヶ月開設されていた六中の避難所が8月末に閉鎖されました。それに伴い、部活動の練習に来ていた生徒たちが片付けや掃除を手伝ってくれました。また、夏休み中に個人的にボランティア活動に参加した六中生もたくさんいました。そのような話が県議会議員さんの耳に入り、生徒たちに何かお礼をしたいと9月7日（月）にプロバスケットボールチーム熊本 VOLTERSの澤邊圭太選手が来校されました。

約50名の六中生を前に、「皆さんの姿に元気をもらいました。」「大変な経験をされたと思いますが、みんなで協力して頑張っていきましょう。」と話をされ、一人一人にTシャツをプレゼントしていただきました。（Tシャツはバスケットボールウェアなどを販売されているB.BUDDYというブランドからのプレゼントでした。）みんな大喜びでした。



給食 ～見えないところで多くの尽力～

先週から簡易給食が提供されています。容器やスプーン等の準備もお世話になっています。現在はご飯・パンとレトルト食品・牛乳が中心で、物足りないと感じている生徒も多いかもしれません。しかしながら、給食センターの被災状況を考えると八代市内の小中学生約1万人の食材を調達・準備し、提供することはとても大変なことなのです。目の前に配られる簡易給食も多くの方が見えないところで尽力され、なんとか提供されているということを想像して欲しいと思います。今週からは一品増やしていただいています。7日の月曜日は東日本大震災の経験を活かして開発された「災害時用の備蓄ゼリー」でした。1袋で101キロカロリー、災害時に効率よく栄養補給・水分補給ができるそうです。食育と同時に防災についても考えながら食べることも「学び」の一つだと考えます。

10月の予定

- 8日（木）JICA講話
- 9日（金）前期通知表配付
- 15日（木）八代中体連駅伝大会
- 23日（金）合唱コンクールリハーサル
- 27日（火）3年生共通テスト～28日（水）



明日9月9日（水）から3日間、前期の期末考査があります。1学期から今まで学習してきた内容の定着を確認するものです。人間は学習したことも一定の期間が経つと忘れてしまうことがあります。定期考査は学習してきたことを復習し、学びを確実なものにしていく大事な機会です。事前にテスト勉強をして臨み、その後の間違い直しまでしっかりとやっていきましょう。何事も積み重ねが大切です。